

6 關 連 資 料

(1) アジア太平洋都市サミット開催経緯

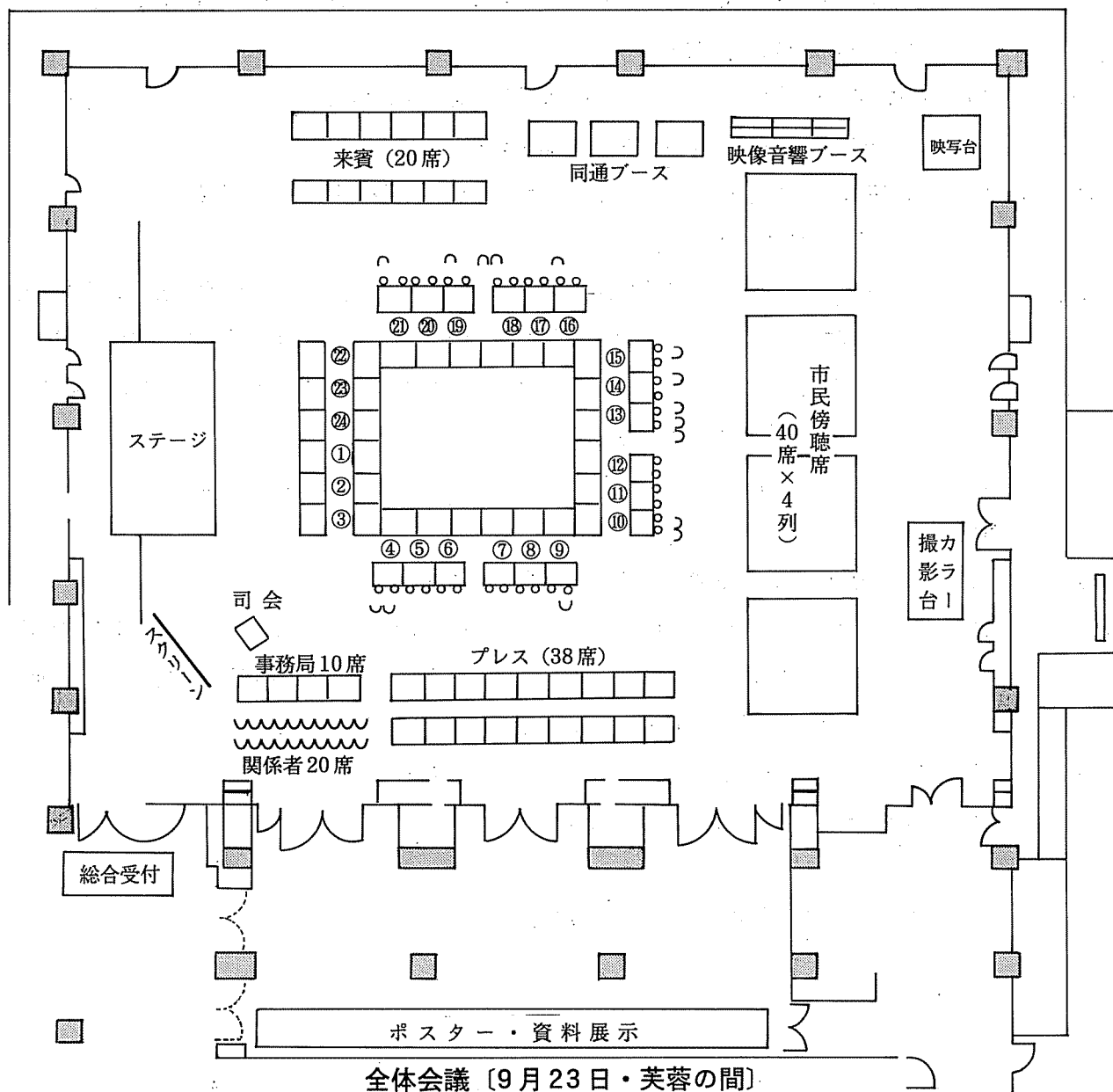
1992. 秋 アジア太平洋都市サミットの開催を構想。
1992. 12. 2 福岡市東南アジア経済視察団のメンバーとして、シンガポールを訪問した桑原市長が、リー・クアンユー上級大臣にお会いして、地域間協力について助言をえる。
1993. 9. 29 開催の理念、テーマ、参加招請都市等を検討するために、「アジア太平洋都市サミット企画委員会」を設置し、第1回企画委員会を開催。
1993. 10. 1 総務局国際企画課に開催準備にあたる専任主査1名を配置。
1993. 10. 8 友池助役が釜山直轄市を訪問し、サミット参加を要請する。
1993. 10. 8 真鍋収入役がジャパン・フェスティバルでNZオークランドを訪問の折、オークランド市長に参加を要請する。
1993. 10. 15 友池助役が福岡上海クラブの一員として上海を訪問した折、上海市長の参加を要請する。
1993. 10. 18 第2回企画委員会を開催し、テーマ、会議の形態等について検討。
1993. 11. 4 外務省、自治省に本サミットの概要を説明し、協力を依頼。
1993. 11. 5 在日本フィリピン大使館及びインドネシア大使館に本サミットの概要を説明し、協力を依頼。
1993. 11. 16 アジア太平洋地域姉妹都市交流会議で来日中のバンコク市の渉外部長に本サミットへの参加を要請する。
1993. 11. 17 第3回企画委員会を開催し、開催の理念、目的、テーマ、参加招請都市等を取りまとめる。
1993. 11. 18 アジア太平洋地域姉妹都市交流会議で来福中のイポー市長に参加を要請し、同市長は参加意向を表明する。
1993. 11. 24 友好訪問団の団長として来福した広州市の副市長に、広州市長の参加を要請。
1993. 11. 24 小山田特別顧問がマニラ、バンコク、ホーチミン、香港を訪問して参加を要請。
～30
1993. 12. 3 南里総務局長がホノルルを訪問して参加を要請。
1993. 12. 3 緒方国際部長が、シドニー、クアラルンプール、ジャカルタを訪問して参加を要請。
～8
1993. 12. 21 国際連合開発支援管理局の米川計画調整官が来福されたので、国連からの支援を依頼。
1994. 1. 4 桑原市長、職員への新年の挨拶において、人と人との連帯が重要であり、その連帯をアジア太平洋地域にも広げるため、1994年秋に本サミットを開催することを発表。
1994. 1. 11 桑原市長、記者会見において、開催目的、開催期間、参加招請都市、テーマを公表する。
1994. 1. 12 海外の参加招請都市に対して、公式招請状及び開催要領を送付。
1994. 1. 中旬 在福外国公館に対して本サミットへの協力を依頼。

1994. 2. 1 小山田特別顧問がシンガポールを訪問して参加を要請。
1994. 2 九州各県の県庁所在都市及び政令指定都市を訪問して参加を要請。
1994. 3. 15 第4回企画委員会を開催し、参加招請状況を報告。
1994. 4. 1 予備会議の招請状及び開催要領を送付。
1994. 4. 1 総務局国際部内に「アジア太平洋都市サミット担当課」を設置。
1994. 4. 5 庁内組織として、友池助役を本部長とする「アジア太平洋都市サミット福岡市推進本部」を設置。
1994. 4. 8 市内の各界で構成し、本サミットの主催者となる「アジア太平洋都市サミット実行委員会」の設立総会を開催。
1994. 4. 19 加藤助役が国際女性フォーラムの基調講演をアキノ前大統領に依頼するためフィリピンを訪問した折、マニラ市長に参加を要請。
1994. 5. 24 福岡市において予備会議を開催し、サミットの概要を説明するとともに、都市データ、
～25 発表原稿等の事前提出を依頼。
1994. 7. 4 小山田特別顧問がアジア開発銀行本部（マニラ）を訪問して、佐藤総裁に基調講演を
～5 依頼し了解を得る。また、マニラ市長に参加を要請し、同市長は参加意向を表明。
1994. 7. 8 志岐総務局長が福岡アジア文化賞の関係でバンコクを訪れた折、バンコク市長の参加
を要請し、同市長の参加を確認。
1994. 7. 18 海外参加招請都市の駐日大使館にサミットの趣旨を説明し協力を要請する。
～19
1994. 7. 19 第5回企画委員会を開催し、共同宣言の草案を検討。
1994. 7. 26 桑原市長、記者会見において、参加都市（11か国・地域の21都市）、各都市の出席者
（21都市のうち14都市が本人出席）、基調講演者（アジア開発銀行の佐藤総裁）、国際
連合の後援及び参加、本サミット関連事業について公表する。
1994. 9. 7 共同宣言案を参加各都市に送付し、事前の検討を依頼。
1994. 9. 20 参加都市の市長、随行者が順次到着する。
～22
1994. 9. 22 「アジア太平洋都市サミット」を開催する。

(2) 会場図

- 開会式：鶴の間
- 基調講演、全体会議：芙蓉の間
- 第1分科会：鶴・西 第2分科会：芙蓉・華 第3分科会：芙蓉・雅
- 総括会議、共同宣言採択会議、閉会式、共同記者会見：芙蓉の間

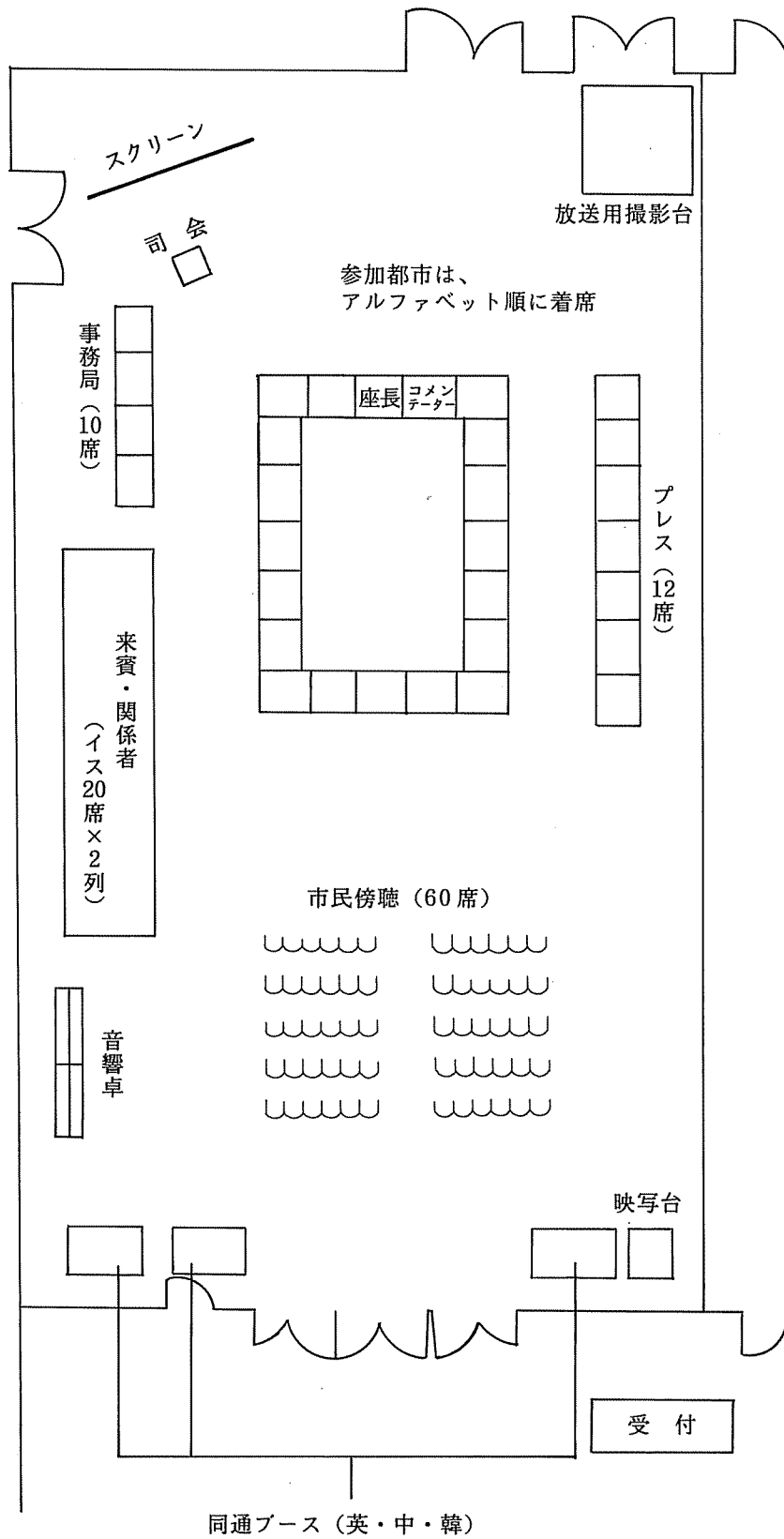
全体会議会場図



全体会議 [9月23日・芙蓉の間]

- | | | | | |
|------------|----------|-----------|----------|---------|
| ①福岡市 | ②オークランド市 | ③バンコク市 | ④広州市 | ⑤ホーチミン市 |
| ⑥香港 | ⑦イポー市 | ⑧ジャカルタ特別市 | ⑨鹿児島市 | ⑩北九州市 |
| ⑪クアラルンプール市 | ⑫熊本市 | ⑬マニラ市 | ⑭宮崎市 | ⑮長崎市 |
| ⑯那覇市 | ⑰大分市 | ⑱釜山直轄市 | ⑲佐賀市 | ⑳上海市 |
| ㉑シンガポール | ㉒国際連合 | ㉓コメンテーター | ㉔コメンテーター | |

分科会会場図



(3) 来 賓

- 外務省 特命全権大使 遠 藤 哲 也
- 国土庁長官官房審議官 角 地 徳 久
- 財団法人 自治体国際化協会事務局長 蒲 谷 亮 一

■ 駐日大使等

国 名 等	役 職	氏 名
マ レ イ シ ア	大 使	ダト H. M. カティブ
インドネシア共和国	大 使	プジ クンタルソ
タ イ 王 国	大 使	ジェーツ スチャリックン
	大使夫人	ニラワーン スチャリックン
シンガポール共和国	大 使	リム チン ベン
ヴェトナム社会主義共和国	大 使	グエン タム チェン
	大使夫人	グエン チィー ハエン
フィリピン共和国	大 使	ドミンゴ L. シアソン Jr.
ニュー・ジーランド	公 使	レネ ウイルソン
	公使夫人	ドム ウイルソン
大 韓 民 国	公 使	尹 志 峻 (ユン シジュン)
	公使夫人	金 光 妍 (キム クアンヨン)
中 華 人 民 共 和 国	大使夫人 (参事官)	王 月 琴 (オウ ゲッキン)
	3等書記官	陶 国 清 (トウ コクセイ)
香港経済貿易代表部	主席代表	デヴィット H. T. ラン
	主席代表夫人	リンダ W. M. ラン

(4) 各都市の出席者リスト

アンダーライン部が姓 (ファミリーネーム)

都市名	役職	氏名
オークランド市 (ニュージーランド) Auckland (New Zealand)	市長 Mayor	レス ミルズ Mr. Les Mills
	市長夫人 Mayoress	コリーン ミルズ Mrs. Colleen Mills
	都市整備局計画調整部長 Manager : Planning & Regulatory Services	ジョン ダッシー Mr. John Duthie
バンコク市 (タイ王国) Bangkok (Kingdom of Thailand)	市長 Governor	クリスダ アルンボング Prof. Krisda Arunvongse
	市長夫人 Spouse of Governor	スチャーダ アルンボング Mrs. Suchada Arunvongse
	事務次官補 Assistant Permanent Secretary	チャルンポン ルアングスワン Mr. Charupong Ruangsuwan
	渉外部長 Head of External Affairs Office	ブーニャキット S. タンザクール Mr. Boonyakit S. Tansakul
広州市 (中華人民共和国) Guangzhou (People's Republic of China)	Mayor 市長	リー ズリウ Mr. Li Ziliu 黎 子流
	Deputy Secretary General 副秘書長	チャオ ジョンチャン Mr. Zhao Zhengqiang 趙 正強
	Assistant Director of Foreign Affairs Office 外事弁公室主任助理	ファン シャオミン Mr. Fang Xiaoming 方 曉明
	Deputy Director Urban & Rural Construction Commission 城郷建設委員会副主任	ジン クンション Mr. Jin Gengsheng 金 更生
	Division Chief of Foreign Affairs Office 外事弁公室国際交流処処長	ユー ジャオダオ Mr. Yu Zhaodao 俞 昭道
	副市長 Vice Chairman	ヴォ ヴィエット タン Mr. Vo Viet Thanh
ホーチミン市 (ベトナム) (社会主義共和国) Ho Chi Minh (Socialist Republic of Viet Num)	建築局長 Director - Department of Construction	ヴー フン ヴィエット Mr. Vu Hung Viet
	副事務総長 Deputy Cabinet Chief	チャン ヴァン トゥアン Mr. Tran Van Thuan
	報道担当兼通訳官 Press Officer - Interpreter	ファム スゥアン ホアン グアン Mr. Pham Xuan Hoang An
香港 Hong Kong	市政局主席 Chairman, Urban Council	レヨン テン ボン ロナルド Dr. Leung Ding Bong, Ronald
	市政局事務総長 Director of Urban Services	ラン ツイー ツユー アルバート Mr. Lam Chi Chiu, Albert
	市政局環境衛生担当上級スタッフ Senior Staff Officer (Public Health)	リユー ジョン Mr. Liu, John
イポー市 (マレーシア) Ipoh (Malaysia)	市長 Mayor (DPMP,PMP,AMP,AMN)	ダト イスマル ビン シャー ボディン Dato' Ismail Bin Shah Bodin
	公衆衛生監督官 Health Inspector	リー ホック ミー Mr. Lee Hock Mee
	都市計画補佐官 Assistant Town Planning Officer	モハメッド アリフ ビン ヨブ イスハ Mr. Mohd Ariff Bin Yeop Ishak
ジャカルタ特別市 (インドネシア共和国) Jakarta (Republic of Indonesia)	西ジャカルタ市長 Mayor of West Jakarta	H. スタルジアント Mr. H. Sutardjianto
	西ジャカルタ市長夫人 Spouse of Mayor of West Jakarta	ヤユ ファトナ Mrs. Yayu Fatonah
	環境開発局長 Head of Environmental Development	アブ ユウォノ アブ プライットノ Mr. Aboe Joewono Aboe Prajitno

都 市 名	役 職	氏 名
鹿 児 島 市 (日本国) Kagoshima (Japan)	Mayor 市長	Mr. Yoshinori <u>Akasaki</u> 赤 崎 義 則
	Chief of Secretariat Section 総務部参事(秘書課長)	Mr. Katsuo <u>Nakamura</u> 中 村 捷 夫
	Chief of International Exchange Section 国際交流課長	Mr. Shozo <u>Kunimura</u> 邦 村 昇 蔵
北 九 州 市 (日本国) Kitakyusyu (Japan)	Deputy Mayor 助役	Mr. Takashi <u>Deguchi</u> 出 口 隆
	Director, International Affairs Department Planning Bureau 企画局国際部長	Mr. Kenichi <u>Tamura</u> 田 村 憲 一
	Director, Public Housing Department Buildings Bureau 建築局住宅部参事	Mr. Hiroshi <u>Sawada</u> 澤 田 博
クアラルンプール市 (マレーシア) Kuala Lumpur (Malaysia)	市長特別顧問 Special Adviser to the Mayor	ジャヤラマン S/O マヌサミー Dr. Jayaraman S/O Munusamy
	管理技師 Executive Engineer	タン コク セン Mr. Tham Kok Seng
	技師 Engineer	ミユアザン ビン ザイニューデン Mr. Muazan bin Zainuddin
熊 本 市 (日本国) Kumamoto (Japan)	Director General, General Planning and Coordination Bureau 企画調整局長	Mr. Keichirou <u>Kamado</u> 竈 啓一郎
	Stuff Member 主事	Mr. Kenji <u>Araki</u> 荒 木 健 至
マニラ市 (フィリピン共和国) Manila (Republic of the Philippines)	市長 Mayor	アルフレドウ S. リンム Mr. Alfredo S. Lim
	市会議員 City Councilor	ロベルト C. オカンボ Mr. Roberto C. Ocampo
	市会議員 City Councilor	エルネスト A. ニエバ Mr. Ernesto A. Nieva
	行政担当官 Administrative Officer IV	アルマ インベリオ エヴァンジェリスタ Ms. Alma Imperio Evangelista
	課長補佐 Executive Assistant II	アンナ グラッシュェール H. ロンメロ Ms. Anna Gracielle H. Romero
	医師 Doctor	ジョイス F. ショー Ms. Joyce F. Chow
宮 崎 市 (日本国) Miyazaki (Japan)	Mayor 市長	Mr. Shigemitsu <u>Tsumura</u> 津 村 重 光
	Director, Planning and Coordination Department 企画調整部長	Mr. Masahiko <u>Takahashi</u> 高 橋 正 彦
	Vice Division Chief of Planning Division 企画課長補佐	Mr. Koichi <u>Toshiyoshi</u> 年 吉 孝 一
長 崎 市 (日本国) Nagasaki (Japan)	Mayor 市長	Mr. Hitoshi <u>Motoshima</u> 本 島 等
	Director, City Development Department 都市開発部長	Mr. Hiroaki <u>Matsumoto</u> 松 本 紘 明
	City Renovation Subsection Chief 都市開発部都市整備課まちづくり係長	Mr. Hiroshi <u>Ikedo</u> 池 田 宏
那 覇 市 (日本国) Naha (Japan)	Mayor 市長	Mr. Kosei <u>Ovadamari</u> 親 泊 康 晴
	The head of the City Planning Department 都市計画部長	Mr. Akira <u>Takamine</u> 高 嶺 晃
	Subsection Chief of Peace Promoting Sec., General Affairs Department 平和振興室主査	Mr. Masato <u>Honio</u> 本 庄 正 人
	Subsection Chief of Secretary Sec., General Affairs Department 秘書課主査	Mr. Kazumasa <u>Tokumoto</u> 徳 元 和 政

都 市 名	役 職	氏 名
大 分 市 (日本国) Oita (Japan)	Mayor 市長	Mr. Keinosuke <u>Kinoshita</u> 木 下 敬之助
	Director, Secretariat and Public Relations Department 秘書公聴室長	Mr. Torao <u>Abe</u> 安 部 寅 雄
	Chief, International Relations Section, Secretariat Division, Secretariat and Public Relations Department 秘書広聴室秘書課国際交流係長	Mr. Eiji <u>Okamoto</u> 岡 本 英 二
釜山直轄市 (大韓民国) Pusan (Republic of Korea)	Mayor 市長	チョン ム ナ Mr. <u>Chung Moon Hwa</u> 鄭 文 和
	Director, International Cooperation Dept. 国際協力担当官	イ ヨンホ Mr. <u>Lee Yong Ho</u> 李 龍 虎
	Director, Transportation Planning Section 交通企画課長	ホン ワン シック Mr. <u>Hong Wan Shik</u> 洪 完 植
佐 賀 市 (日本国) Saga (Japan)	Mayor 市長	Mr. Masatoshi <u>Nishimura</u> 西 村 正 俊
	Director of General Affairs Department 総務部長	Mr. Sakae <u>Shima</u> 嶋 栄
	Director of International Exchange Office 国際交流室長	Mr. Takero <u>Sakai</u> 坂 井 猛 郎
	Assistant Section Chief - Public Relations and Secretarial Section 秘書係長	Mr. Yasuyuki <u>Jin - nouchi</u> 陣 内 康 之
上 海 市 (中華人民共和国) Shanghai (People's Rep- ublic of China)	Vice Mayor 副市長	シア ケーチャン Mr. <u>Xia Keqiang</u> 夏 克 強
	Leading member of Shanghai Municipal Construction Commission 建設委員会負責人	リ チュンタオ Mr. <u>Li Chuntao</u> 李 春 濤
	Staff-member of Shanghai Foreign Affairs Office 外事弁公室科員	クー ウエン Ms. <u>Gu Wen</u> 顧 文
シンガポール Singapore	国家開発省政務次官 Snr Parliamentary Secretary (Ministry of National Development)	マタイヤス ヤオ チー Mr. Matthias <u>Yao Chih</u>
	住宅開発庁上級建築技師 Snr Principal Architect (Housing & Devt Board)	ロー スウィー シン Mr. <u>Loh Swee Seng</u>
	都市再開発公社土地行政部長代理 Deputy Director, Land Administration Division (Urban Redevelopment Authority)	ウエン カイ メング Mr. <u>Wen Khai Meng</u>
	国家開発省国土開発計画部長代理 Deputy Director, Strategic Planning Division (Ministry of National Development)	ング ウイ フィ Mr. <u>Ng Ooi Hooi</u>
福 岡 市 (日本国) Fukuoka (Japan)	Mayor 市長	Mr. Keiichi <u>Kuwahara</u> 桑 原 敬 一
	Deputy Mayor 助役	Mr. Kazuhiro <u>Tomoike</u> 友 池 一 寛
	Deputy Mayor 助役	Mr. Hiroshi <u>Suefuji</u> 末 藤 洋
	Deputy Mayor 助役	M.D. Atsuko <u>Kato</u> 加 藤 竺 子
	Executive Director of General Affairs Bureau 総務局長	Mr. Shinichi <u>Shiki</u> 志 岐 眞 一

(5) 参加者数

(人)

内 訳	会議出席者	来賓等	※ 市民	市関係者	合計
開 会 式	90	390	—	80	560
歓 迎 夕 食 会	90	390	—	80	560
全 体 会 議	90	20	150	30	270
第 一 分 科 会	33	4	50	10	97
第 二 分 科 会	32	2	50	10	94
第 三 分 科 会	29	2	50	10	91
総括会議、共同宣言発表、閉会式	88	8	150	30	276
行 政 視 察	53	4	—	20	77
送 別 夕 食 会	78	4	—	60	142

※ 市民も傍聴できるよう一般公募を行った。

(6) 作成資料

「都市概要」

A 4 版、日英、日中、日韓の対訳 3種類 計 800部

各都市から取り寄せた資料に基づき、概観、歴史、社会と文化、都市政策について記載し、写真や図表を用いて各都市の表情を紹介した。

「会議資料」

A 4 版、バインダー式 日・英・中・韓の4カ国語 計 400部

全体会議及び各分科会において都市が発表する原稿を集約した。

「参加者リスト」

A 4 版、日・英・中・韓の4カ国語併記 800部

プレゼンテーション用ビデオ

VHS 14分

サミットの趣旨をわかりやすく紹介するために作成した。開会式で使用。

その他の資料

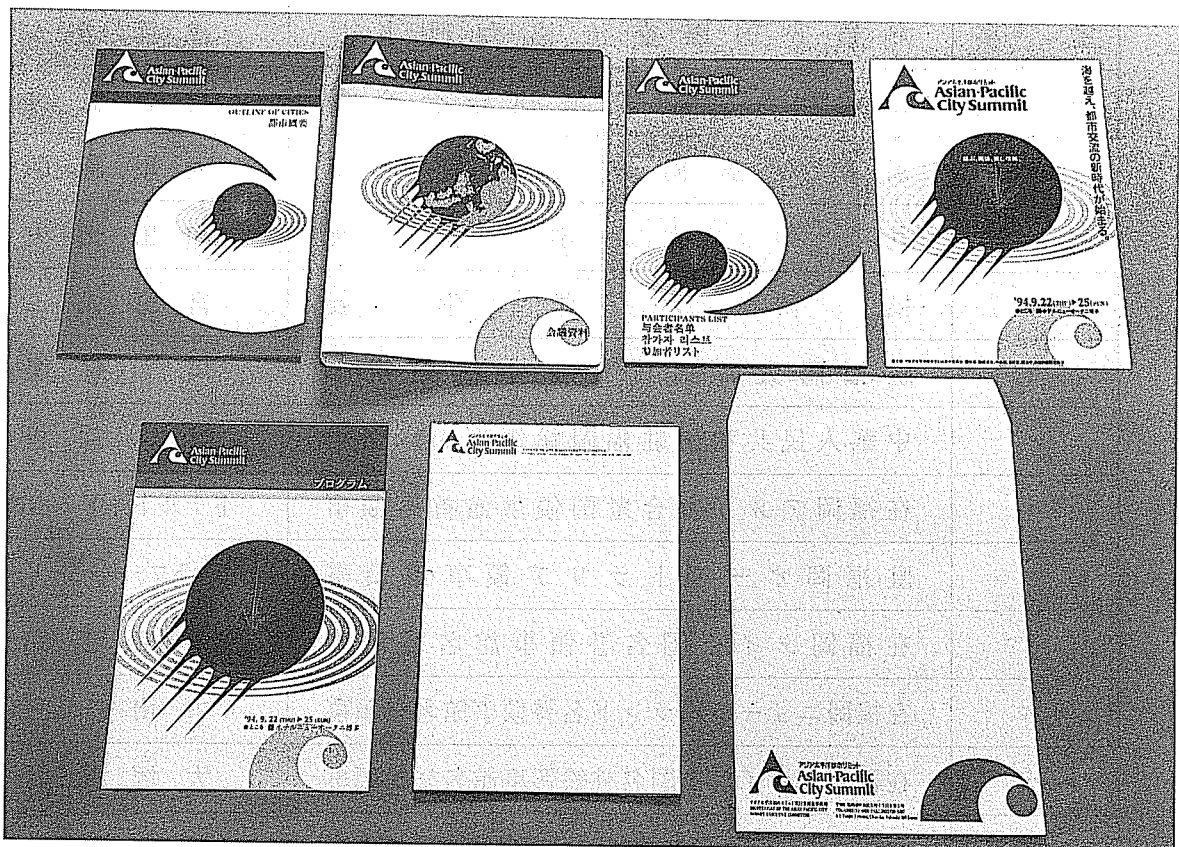
リーフレット (A4版 2つ折 日本語)

プログラム (日・英・中・韓国語の4種類)

公式記録ビデオ (日本語2巻 2時間)

レターヘッド

専用封筒



● アジア太平洋都市サミット実行委員会

■ 設置目的

アジア太平洋都市サミットの開催に向けて、その準備・運営を円滑に進めるとともに多様な交流を進めることで更に有意義な会議としていくために、産・学・官が一体となった取り組みを行えるよう実行委員会を設置した。

■ 実行委員会名簿（規約第4条関係…別表第1）

区 分	役 職 名	氏 名
会 長	福 岡 市 長	桑 原 敬 一
副 会 長	福 岡 商 工 会 議 所 会 頭	山 下 敏 明
監 事	(財) 福 岡 国 際 交 流 協 会 理 事 長	後 藤 達 太
委 員	(社) 九 州 ・ 山 口 経 済 連 合 会 会 長	川 合 辰 雄
〃	福 岡 経 済 同 友 会 代 表 幹 事	大 屋 麗 之 助
〃	九 州 大 学 総 長	和 田 光 史
〃	福 岡 大 学 学 長	宮 野 成 二
〃	駐 福 岡 大 韓 民 国 総 領 事 館 総 領 事	禹 鍾 溟
〃	中 華 人 民 共 和 国 駐 福 岡 総 領 事 館 総 領 事	呉 従 勇
〃	在 福 岡 ア メ リ カ 合 衆 国 領 事 館 首 席 領 事	ドナルド・Y・山本
〃	駐 福 岡 オ ー ス ト ラ リ ア 領 事 館 領 事	クリストファー・N・リース
〃	在 福 岡 タイ 王 国 名 誉 領 事 館 名 誉 領 事	中 牟 田 喜 一 郎
〃	在 福 岡 ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド 名 誉 領 事 館 名 誉 領 事	中 山 一 三
〃	在 福 岡 マ レ イ シ ア 国 名 誉 総 領 事 館 名 誉 総 領 事	大 塚 基 博
〃	在 福 岡 イ ン ド ネ シ ア 共 和 国 名 誉 領 事 館 名 誉 領 事	開 克 敏
〃	(財) 福 岡 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン ビ ュ ー ロ ー 会 長	山 下 敏 明
〃	(財) ア ジ ア 太 平 洋 セ ン タ ー 会 長	鹿 取 泰 衛
〃	福 岡 市 助 役	友 池 一 寛
顧 問	福 岡 市 特 別 顧 問	小 山 田 隆
〃	三 宅 事 務 所 所 長	三 宅 和 助

アジア太平洋都市サミット実行委員会規約

(名 称)

第1条 この会は、アジア太平洋都市サミット実行委員会（以下「実行委員会」という。）という。

(目 的)

第2条 実行委員会は、アジア太平洋都市サミット（以下「サミット」という。）を主管し、円滑な運営を図ることを目的とする。

(事 業)

第3条 実行委員会は、次に掲げる事業を行う。

- (1) サミットの準備に関すること
- (2) サミットの運営に関すること
- (3) サミットの資金計画及び会計処理に関すること
- (4) サミットの関係団体との連絡調整に関すること
- (5) その他前条の目的達成に必要な事業に関すること

(構 成)

第4条 実行委員会は、別表第1に掲げるものをもって構成する。

2 新たに構成員とするときは、実行委員会の承認を経るものとする。

(役 員)

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1人
- (2) 副会長 1人
- (3) 監 事 1人

(役員選任)

第6条 会長は委員が互選する。

2 副会長は、委員の中から会長が実行委員会の同意を得て選任する。

3 監事は、会長が委嘱する。

(役員職務)

第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長がかけたときは、その職務を代理する。

3 監事は、実行委員会の会計を監査する。

(顧 問)

第8条 実行委員会に、顧問をおくことができる。

2 顧問は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会務に関し、会長の相談に応ずるとともに、助言を行うものとする。

(任 期)

第9条 委員及び顧問の任期は、サミットに係る事務処理が終了するまでとする。

(会 議)

第10条 実行委員会の会議は、必要に応じて会長が召集し、会長が議長となる。

2 会長が必要と認めるときは、委員以外の者に出席を求めることができる。

(運営委員会)

第11条 サミットの運営、接遇等について審議するために、実行委員会のもとに、運営委員会を置くことができる。

2 運営委員会の委員（以下「運営委員」という。）は、必要に応じて会長が委嘱する。

(企画委員会)

第12条 サミットのテーマ、議題等の専門的事項について調査、研究するために、実行委員会のもとに、企画委員会を置くことができる。

2 企画委員会の委員（以下「企画委員」という。）は、必要に応じて会長が委嘱する。

(経 費)

第13条 実行委員会の経費は、構成機関の補助金、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(事務局)

第14条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(委 任)

第15条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規約は、平成6年4月8日から施行する。

■ 企画委員会（規約第13条関係）委員名簿

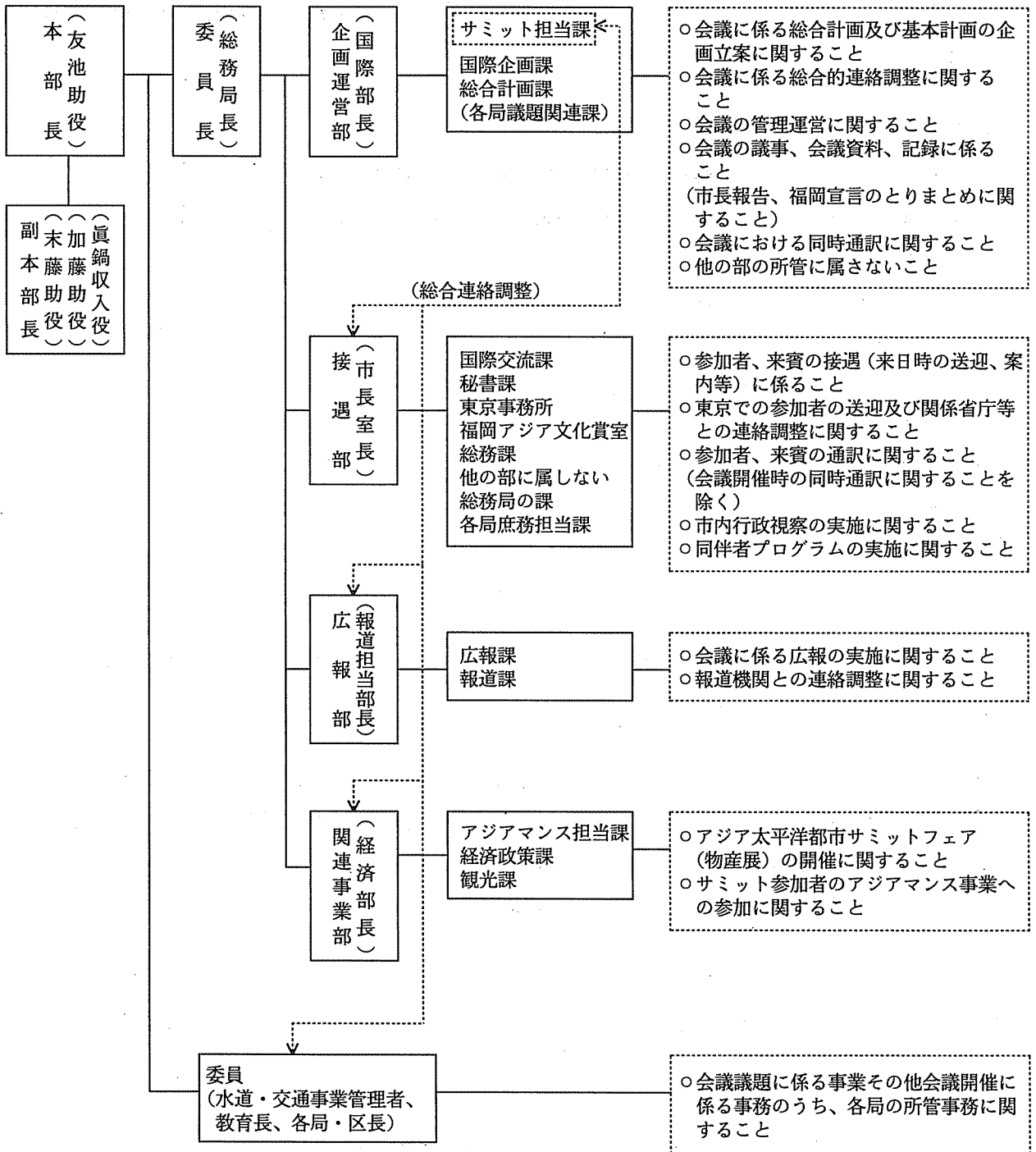
役 職 名	氏 名
九州国際大学国際商学部教授	林 一 信
九州大学経済学部教授	矢 田 俊 文
九州大学経済学部教授	徳 永 正二郎
九州大学工学部教授	竹 下 輝 和
久留米大学法学部助教授	古 賀 幸 久
アジア太平洋センター専務理事	大 和 一 智

● アジア太平洋都市サミット福岡市推進本部

■ 設置目的

サミット開催の主体となる福岡市役所が一丸となってサミットの開催にあたるため、全庁的な推進本部を設置した。

■ 体制



アジア太平洋都市サミット福岡市推進本部設置要綱

(名 称)

第1条 この本部は、アジア太平洋都市サミット福岡市推進本部（以下「本部」という。）という。

(目 的)

第2条 本部は、アジア太平洋都市サミットの開催の準備及び会議の運営について、円滑かつ総合的な推進を図ることを目的とする。

(構 成)

第3条 本部は、本部長、副本部長、委員長及び委員をもって構成する。

2 本部長は総務局を所管する助役を、副本部長はその他の助役及び収入役を、委員長は総務局長をもって充てる。

3 委員は、別表第1に掲げる者をもって充てる。

(本部長、副本部長及び委員長の職務)

第4条 本部長は、本部を代表し、本部の事務を総理する。

2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故あるとき、又は本部長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 委員長は、本部長及び副本部長を補佐する。

(会 議)

第5条 本部の会議（以下「本部会」という。）は、本部長が必要に応じて招集し、本部長が議長となる。

(補助機関)

第6条 本部の目的を達成するため、委員長のもとに企画運営部、接遇部、広報部、関連事業部を置き、企画運営部の部長は総務局国際部長を、接遇部の部長は市長室長、広報部の部長は市長室報道担当部長を、関連事業部の部長は経済振興局経済部長をもって充てる。

2 前項の各部は別表第2に掲げる組織をもって構成し、その所掌事務は別表第3に掲げるものとする。

(庶 務)

第7条 本部の庶務は、総務局国際部課長（アジア太平洋都市サミット担当）において行う。

(補 則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は、本部長が定める。

附 則

この規約は、平成6年4月5日から実施する。

別表第1

職名	消防局長、水道事業管理者、交通事業管理者、教育長、財政局長、市民局長、民生局長、衛生局長、環境局長、経済振興局長、農林水産局長、都市整備局長、土木局長、下水道局長、建築局長、港湾局長、大学移転対策局長、東区長、博多区長、中央区長、南区長、城南区長、早良区長、西区長
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

別表第2

	担 当 課 等
企画運営部	総務局国際部課長（アジア太平洋都市サミット担当）、国際企画課、企画調整部 総合計画課、環境局環境保全部環境管理課、都市整備局都市計画部交通計画課、 下水道局建設部計画課、建築局管理部住宅計画課
接 遇 部	総務局国際部国際交流課、福岡アジア文化賞室、市長室秘書課、総務局総務部 総務課、東京事務所、他の部に属さない総務局の課、各局庶務担当課
広 報 部	市長室広報課、報道課
関連事業部	経済振興局経済部課長（アジアマンス推進担当）、国際経済課、観光課、中小 企業部工業課、市民局文化部文化振興課、教育委員会美術館事業管理部学芸課

別表第3

	所 掌 事 務
企画運営部	<ul style="list-style-type: none"> ・会議に係る総合計画及び基本計画の企画立案に関する事 ・会議に係る総合的連絡調整に関する事 ・会議の管理運営に関する事 ・会議の議事、会議資料、記録に関する事（市長報告、共同宣言に関する事） ・会議における同時通訳に関する事 ・他の部の所管に属さない事
接 遇 部	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者、来賓の接遇（来日時の送迎、案内等）に関する事 ・東京での参加者の送迎及び関係省庁等との連絡調整に関する事 ・参加者、来賓の通訳に関する事（会議開催時の同時通訳に関する事を除く） ・市内行政視察の実施に関する事 ・同伴者プログラムの実施に関する事
広 報 部	<ul style="list-style-type: none"> ・会議に係る広報の実施に関する事 ・報道機関との連絡調整に関する事
関連事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア太平洋都市サミットフェア、写真展等の開催に関する事 ・アジアマンス事業への参加、関連事業に関する事 ・サミット参加記念品に関する事

(8) アジア太平洋都市サミット予備会議

アジア太平洋都市サミットを有意義な会議にするために、サミット参加都市の実務担当者による事前打ち合わせを行った。

- 日 時：1994年5月24日（火）25日（水）
- 場 所：ホテルニューオータニ博多
- 使用言語：日本語、英語、中国語、韓国語
- プログラム

5月24日（火） 会議、歓迎夕食会

9：30～12：00	福岡市長挨拶 座長挨拶 自己紹介及び都市紹介 九州紹介、ビデオプレゼンテーション 記念写真撮影
12：00～13：30	昼食
13：30～14：30	サミットの概要説明
14：30～15：00	コーヒープレーク
15：00～16：40	アジア太平洋都市サミットの依頼事項説明 サミット関連事業の説明 福岡市紹介 質疑応答
18：30～20：30	歓迎夕食会

5月25日（水） 行政視察

8：30	ホテルニューオータニ博多出発
9：00～9：50	福岡市博物館見学
10：00～11：00	福岡ドーム見学
11：10～11：50	福岡タワー見学
12：00～13：00	昼食（マリゾン）
13：00～14：40	福岡空港着→地下鉄 天神駅着→天神地下街→イムズ→福岡市役所
14：40～15：00	市庁舎内でコーヒープレイク
15：00～	自由行動

新聞の主な報道状況は次のとおりである。
テレビでは、ニュースとして10件報道されたことが確認された。
また、NHKの特別番組「テレビシンポジウム」の中で、サミットが放映された。

毎日新聞

94. 9. 25

アジア太平洋 都市サミット

各都市の問題点浮き彫り

「交通」「住宅」など活発論議

福岡市で開かれ、二十四日「福岡宣言」を採択した「アジア太平洋都市サミット」は、急激な発展に伴う人口集中や交通渋滞など、「世界の成長センター」といわれるアジア太平洋地域の各都市が抱えている様々な問題点を浮き彫りにし

た。サミットは二十二日から海外十二都市を含む計二十一都市の首長らが参加。二十三日の全体会議、二十四日の①交通②住宅③環境・衛生の三分科会などを通じて、活発な討論を展開した。この中で、各都市共通の

課題として特に指摘されたのは交通渋滞。赤崎義則・鹿児島市長は「渋滞が都市機能に深刻な影響を及ぼしている」と懸念を示した。

住宅問題ではホーチミン市（ベトナム）が一人当たりの平均住宅面積が六平方メートルと非常に狭く、地方から職を求めて流入した移住者がスラム街を形成するなど、深刻な住宅事情を報告。また、都市化に伴うゴミ問題も重大で、イポー市（マレーシア）では一九九〇年以來、ゴミの量が年平均二・四％増加。日本からの技術支援を希望する意見も出

た。これを受けて、ホスト役の桑原敬一・福岡市長は「各都市が直面している課題について、相互に連携して解決に当たることが必要である」と指摘。「福岡宣言」でも、政治・経済や言語、文化の違いを越えた「アジア太平洋都市ネットワーク」の構築が提言された。サミットは最終日の二十五日、福岡ドームやシーサイドももち、リサイクルプラザなど関連施設を視察。午後六時半からはアジア太平洋フェスティバルのナイトパレードに参加し、四日間の幕を閉じる。



一、都市は急速な発展を遂げる一方で、交通、住宅、環境・衛生などの問題が生じている。めざましい経済成長と調和できる都市整備を進め、人間居住空間としての魅力を高めることが不可欠だ。

二、今日の都市問題は、一国、一都市だけでは解決しがたいものが多い。参加国は多様な知識と経験を持ちより、都市の健全な発展と都市政策の前進に向け協力しあうことが重要だ。

三、都市間の協力・連携は、相互理解と友好により築かれる。サミットを契機

に「フェイス ツー フェイス、(顔と顔)、ハート ツー ハート、(心と心)を大切にして、市民を中心に産・学・官の多様多層な交流回路を作り上げていく必要がある。

四、われわれは「アジア太平洋都市ネットワーク」の構築を目指すため、今後サミットを継続開催することに合意し、そのための事務局を福岡市に置く。都市間の平等な「学びあい」は、国際交流の新しいフロンティアを開くだろう。



新連携え越海

福岡宣言を発表し閉会したアジア太平洋都市サミット
—9月24日、ホテルニューオータニ博多



多様な人の交流、育成を

膨張の矛盾 クローズアップ

努力で浄化し、誇れる水網都市になった(佐賀市) シーサイドのオープンをはじめ、国際観光リゾート都市へ切り替々と進んでいる(宮崎県)など、地方は移都府として独自のまちづくりの成果をアピール。

その反面、一面都市地帯の人口空洞化が進んでいる(長崎県)など、都市開発の下での矛盾も深刻になり、悔しいな水不足問題を苦境を福岡市の委原政一市長は「都市はいまさら膨張するのではなく、調いするべきが不可欠」との持論を示した。

「この開催に際して、コンベンターの古くも久留米大助教授は「都市間協力は始まったばかり。多種多様な人的交流と人材育成を進めていくことが大切」とアドバイス。林一信九州国際大教授は、九州各県で、国際観光の空想を託じて大規模な都市建設の整備計画が相次ぐ中で、九州内での機能分担を急務とする時期にきている」とも指摘した。

海外から参加 首長らのひとこと集

技術の交流を切望 ジョージア州のソマリア市長(ソマリア) 対談を通じて、他都市との経験交流を促していきたい。いづかの経験を参考にしたい。日本からの技術的知識の交流も切望する。

日本の知識を学ぶ アルフレド・S・ソリン氏(メキシコ) 歓迎したい福岡市民に感謝します。都市間の友好の大事を痛感した。日本からの知識・洞察は、サミットで築いた関係をさらに強めた。

共通分野の解決を 鄭文和氏(釜山市長) 国際協力のための協働をたしなむ議論に満足した。都市サミットを重視し、福岡市に敬意を表す。共通の都市問題の分野で互いに問題解決に協力しよう。



アジア開発銀行 佐藤 光夫 総裁

定なこと。こうした問題の解決に向... 水質の浄化計画や取り組みが... 悪化しているが、重要... 処理施設の不足、インフラ整備... 不十分な... どの水問題... あり、都... 地方自治体への分権強化... 交通問題... アジア開発銀行としてア...

貧困解消へ途上国支援

過去十五年間、アジアの二〇年には十億人... アは他の発展途上の地域... 都市人口の急激な拡大... 二がスラムが無断居住... 在された。今後三十年間... はインフラサービス、... 地帯に住むとわられてい... で、アジア開発銀行に加... 住、貧困、環境をの... 大気汚染などの環境... 問題もある。... 開発途上国の国々... 重大問題をたらず。... 都市部の人口が二... 例えは、水の供給が不安... それぞれの都市では、



国連開発支援管理局 田島 幹雄 部長

この経済... 際的協力事業を行うに... 困窮した土... 国内の基盤が未整備... 台となる... なごみが多い。道路建... 設は「都市の... 水道網整備などの運... れは、地域の生態や環境... に深刻な影響を及ぼす... 二れ、現存する問題解... 決のための最も効果的... 方法は、実務者レベル... 都市を中心... 直接交渉を通じた都市か... ら都市への技術の移転を... 図ることだ。先進都市か... ら多くの経験や知識を学... んだ上、開発途上国... の都市間のコミュニケー... ションの機会をつくり... その活動を促進させるこ... とは、わたしたち日本人... アジアの開発途上国に... 多くの都市では、国... の務めであると思う。

難問解決へ技術移転を

アジア地域では、欧州 (ASEAN) に中国... 連合 (EU) などの設立... 韓国・日本を含んだ東... なるだろう。都市と都市... に制され、新たな地域... アジア経済共同体 (AEC)... 経済圏を確立する動きが... ASEAN の設立を... 関係よりもワットは大... 商ましている。マレーシ... この設立が実現すれば... アのマンチール首相... 欧米を中心とする... は、東アジア諸国連合... 現することになる。

次回開催は広州市

次回の都市サミットが開かれる中... 国・広州市では、地元・広州日報... がトランスニースで掲載した



たな一歩

全体会議

首長が、各都市の特色... と抱える問題点を、スラ... ドを交えながら報告した... 改革開放政策による経済... 発展とそれに伴う人口集... が進む広州市 (中国)... 子流市長は「新、旧市街... の居住環境を、いかにバ...

都市サミット会議出席者

- 【海外】オクラホマ (ニューシ... ンドレス・ミルズ市長、バンブ... ンクリスタ・アルボン市長、広... 州中国二流市長、ホーチミン (ベ... トナム) ウェット・タン副市... 長、高麗 (レオン・チェン・ボン... 州) 市長、上海 (中国) 市長
- 【国内】... 市長、シカゴ市長、マニラ (フィリピン) 市長、... 市長、長崎市長、高松市長、... 市長、長崎市長、高松市長、... 市長、長崎市長、高松市長、...

アジア太平洋都市サミット



フィナーレを飾って、海外都市首長も... 参加してのフェスティバルパレード

重要な一歩印した

部への集中 能に深刻な影

てくる。各都市のこのまま
ままな打開策が浮き彫りとな
なつた。バンコクは「主要
道路に自動車専用レーンや
バス・自転車優先レーン等
設けて通行の効率化を図り
たい」。人口三百万を越え
る広州は「自転車など個人
の交通用具を制限し、地下
鉄や鉄道など交通機関の整
備を急いでいる」。シラ
ルポールは「道路網が放
射状であり、交通の集中・
分散がうまく機能していな
い」として、交差点の信号
の色を交通量に応じて調節

交通問題

第一分科会

アジア太平洋時代の都市の発展と人間居
住環境との調和をテーマに「アジア太平洋
都市サミット」(同サミット実行委員会主
権、国際連合、外務省、自治省、国土庁、
自治体国際化協会後援)が九月二十二日か
ら二十五日まで福岡市で開かれ、海外と九
州の十一カ国・地域から二十一都市が参加
した。
サミットは、全体会議、分科会を通じ、
交通、住宅、環境・衛生と各都市が抱える
共通課題を論議。海を越えた大都市間交流の
時代にふさわしい「アジア太平洋都市ネッ
トワークの構築」などを目指した福岡宣言
を採択、アジア太平洋都市連携の新しい一
ページを切り開いた。
会議では、同サミットの二回目を九六年
に中国・広州市で開くことを決定。九五年
には韓国・釜山市で交通問題に絞った実務
者会議の実施も決まるなど、参加都市はサ
ミットを通じて、お互いに連携して都市づ
くりに取り組む意欲を強調した。

と住環境の調和へ



国境を越え都市問題の具体的な事例につい
て論議を繰り広げたアジア太平洋都市サ
ミットの分科会



第3分科会で論議が
集中した交通問題
は福岡市の西郷太
市工務局長、中央
口入りの市議員
も参加した。

安定した発展には解決が不可欠

住宅問題

第二分科会

オランダ、ボネ
ン、シンガポール、上海、
長崎、北九州、福岡の七市
が参加。各市長は「家は
家族の核」との共通認識を
確認し、安定した都市発展
には住宅問題解決が不可欠
との認識で一致した。
会議の冒頭で、スラムの
住環境改善、都市部の再開
発、都市空洞化などの現状
が報告され、住宅問題が複
雑化していることが示唆。
自由討論では、都市の過
密化のため通勤時間の短
い衛星都市の開発に公共交
通機関の充実が第一(ホ
ンコン)、一駅単位の問題
が深刻化(上海)など、
共通の課題が議論された。
具体的な解決策は見出さ
なかったものの、住居の
求める住居をいかに受け入
れ、行政として必要な支
援をいかに北九州に
対し「住宅開発特区」に
せよ」というオランダ
市長が、行政の立場について
意見交換があった。さらに
「まじ」への情報センタ
ーを設置しては長崎市長
や、市長のまじへの運動
を助成する福岡市長、住居
参加の好例を紹介。
最後に、シンガポールの
は「社会変化を要すれば、
住居の整備は、個々の
家庭に合った良質な住居の
デザインを重視する時代は来
ないか」と指摘した。

海外から参加 首長らのひとこと集

過ち繰り返さな
ウオ・ウイエット
氏(ホーチミン副市長
環境破壊などの都市開
招く問題を懸けて、同
ちには繰り返さないとい
訓を学んだ。問題解決
でなく、友好の架け橋
なした。
ネットワーク重要
レモン・テン・ボ
ロナルド氏(香港市政
府) 都市の運営・開
ついで意見交換がで
に立った。国際的ネッ
ワークを築くことの重要
感じる。次回サミット
参加したい。
理解と友情養った
ダド・イスマル・ビ
ン・ポテハン氏(ハ
ノイ市長) 共通の問題
論で、相互理解と友
誼を築くことが重要。
副・参事市長の気持が
都市の発展を目指した
継続決定に期待を
ヒ・スタルシヤン
(西ジャカルタ市長)
晴の都市サミットが
われ、出席の機会に
謝辞を述べ、サミットの
成功を祈り、今後「都市
づくり」を

行政の交流 成果あり

都市サミット閉幕 各代表「継続開催を」

十一か国・地域の二十二市・S・リンム氏が参加都市を都市の首長らが都市問題を話し合う「アジア太平洋都市サミット」は二十四日、主な日程を終え共同宣言を採択したが、各都市代表は「二国間だけではなく、これだけの都市が一堂に会し、都市問題を話し合うのは初めてのこと。他国の都市の実情がよく分かり、参考になった」と口々に成果を話していた。

閉会式ではフィリピン・マニラ市長のアルフレド・ゴシ問題など成長途上の都市の悩みはよく似ており、お互いに学び合えた」（パシフィック市）、「情報を交換し合い、都市同士の同じ過ちを繰り返さぬようしたい」（ホーチミン市）などと感想を話していた。

福岡市の桑原敏一市長は「これまでの文化交流を中心とした交流を、一歩進めて行政間の交流を」と開催したが、各都市から継続して開くべきという意見が多く成功だったと話していた。

アジアサミット閉幕

都市の発展がもたらす問題の解決法を話し合おうと、海外十カ国・地域と九州・沖縄の二十一都市の市長らが参加し、福岡市で初めて開かれた「アジア太平洋都市サミット」は二十四日、共同宣言を採択し、三日間の討議を終えた。

共同宣言は、経済成長と調和できるような都市整備を進めるため、サミット参加都市が知識と経験を持ち寄る「アジア太平洋都市ネットワーク」の構築を目指すとしている。

サミットは二十二日に開会し、二十三日の全体会議に続いて、二十四日は「交通」「住宅」「環境・衛生」の各分科会と総括会議で意見を交わした。一九九六年に中国・広州市で次期サミットを開き、その後も継続する方針を申し合わせた。

「都市間が親密な友好関係を築ければ、国家間の紛争はなくなり、人間的な進歩と開発に専念できる」（マニラ市長）と、各都市代表はサミットの意義を強調。主催した福岡市の桑原敏一市長は「サミットは成功だった」と述べた。

「フクオカ」浸透は成功

福岡市のリーダーシップの下で開かれたアジア太平洋都市サミットが、同市を事務局役に今後も継続して開催されることになった。会議に参加したアジア諸都市の首長らが「フクオカ」の存在を認めたとともに、同市にとって大きな意味を持つ。ただ会議は回を重ねれば様々な要求が出る。利害が絡み合う複雑な場面をどう受けか。国際都市への様々な条件整備を含め、同市が目指すアジアのリーダー都市としての資質が問われるのはこれからである。

「何よりも素晴らしいのは参加者が友情と協力関係を築められたこと。成長著しい地域の国際交流は非常に大切だ。こうした場を提供してくれた福岡市に深く感謝する」(釜石流・広州市長)。

サミット閉幕に当たって開かれた二十四日の

福岡市 アジア太平洋サミット事務局継続

記者会見の席上、参加した十一都市の首長自らが九国・地域二十一都市の首長らに呼びかけ、同市の首長らに「フクオカ」の存在を認めたとともに、同市にとって大きな意味を持つ。ただ会議は回を重ねれば様々な要求が出る。利害が絡み合う複雑な場面をどう受けか。国際都市への様々な条件整備を含め、同市が目指すアジアのリーダー都市としての資質が問われるのはこれからである。

九州からアジアの中核都市への飛躍にかけると福岡市は、市制百周年を兼ねた八九年のイベント「アジア太平洋博覧会」開催以降、「福岡アジア文化賞」の創設などアジア密着型の様々な国際化戦略を打ち出してきた。

「自治体の制限」経済協力に壁

「リーダー都市」残る課題

すべては知名度を上げ、アジア市に置き、継続的にサミットを開催する意図を取り付けたこと、という思いを込めたわけだが、文化面中心だっただけに効果も限られていたのが実情だった。

今回の会議にはアジアの主要都市間ネットワーク」が構築さ



今後、利害が絡み合った時に、福岡市の調整手腕が問われることに……(24日の会議を終え会見する首長ら)

れ、交流が深まれば、効果が経済などあらゆる分野に及ぶことは間違いない。桑原市長自身「今回の会議の成功で、国際化に関して様々な道が開けた」と話す。

ただ、今後の課題も多い。すでに「日本の技術を他の都市に移転してもらいたい」(ジャヤラマン・マヌサミー・クマラン・プールの市長特別顧問)といった声が出ている。

会議を重ね、実務者レベルの話合いが進めば、こうした福岡市への技術移転を求める声はより強く出てくるはずだ。しかし、例えば、環境技術などは企業の協力が不可欠であり、一地方自治体に過ぎない同市がどこまでこうした声にこたえをこたえが出来るのか。

アジアの中核都市、国際都市を名乗るにはまだまだソフト、ハードの面で様々な不備があることも見落とせない。アジアのリーダー都市への道のりは、まだ途についたばかりだ。

(西部支社編集部 源関 隆)

アジア太平洋都市サミット

都市問題で苦悩するアジア 解決へ地域間ネットワーク

都市外交へ新しい流れ

九州各県の県庁所在地などアジア太平洋洋カ国の二十一都市が参加する「アジア太平洋都市サミット」が、九月二十三日から四日間、福岡市で開催された。会議では「交通」「住宅」「環境・衛生」など各都市が共通に抱えるテーマをもとに意見を交換、互いの経験を分かちあうとともに、地域間のネットワークを広げた。席上、二年ごとにサミットを継続することが決定され、次回九六年は中国・広州市で開催される。

「本大会が成功を収め、多くの都市が参加する。この大会が、サミットの成功を確信させる。サミットは、都市間のネットワークを築くための重要なステップである。サミットを通じて、都市間のネットワークが広がり、地域間の交流が促進されることを期待している。」

「サミットは、都市間のネットワークを築くための重要なステップである。サミットを通じて、都市間のネットワークが広がり、地域間の交流が促進されることを期待している。」

「サミットは、都市間のネットワークを築くための重要なステップである。サミットを通じて、都市間のネットワークが広がり、地域間の交流が促進されることを期待している。」



サミットは、二年後の開催が決定された。広州市の代表が出席。

「都市外交」の新しい流れが、具体的な都市間のネットワークを築くための重要なステップである。サミットを通じて、都市間のネットワークが広がり、地域間の交流が促進されることを期待している。

「サミットは、都市間のネットワークを築くための重要なステップである。サミットを通じて、都市間のネットワークが広がり、地域間の交流が促進されることを期待している。」

「サミットは、都市間のネットワークを築くための重要なステップである。サミットを通じて、都市間のネットワークが広がり、地域間の交流が促進されることを期待している。」

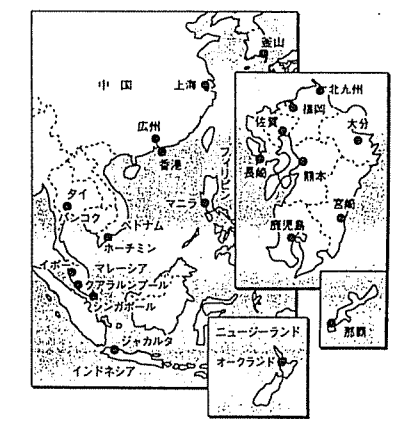


各都市で抱えている都市問題の解決策を探ろうと、熱心な意見交換が行われた。(右から2人目が泉原・福岡市長)



各都市で抱えている都市問題の解決策を探ろうと、熱心な意見交換が行われた。(右から2人目が泉原・福岡市長)

アジア太平洋都市サミット参加都市



参加都市 福岡、北九州、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、那覇、釜山(韓国)、上海(中国)、広州(同)、バンコク(タイ)、ホーチミン(ベトナム)、香港、クアラルンプール(マレーシア)、イポー(同)、ジャカルタ(インドネシア)、マニラ(フィリピン)、シンガポール、オークランド(ニュージーランド)。

本报福岡
电 (记者陶
建) 为期4天
的亚洲太平洋
城市首脑会议
昨日在日本福
冈市开幕, 与
会者将就发展
迅速的大都市的建设和管理问题充分交换意见。

出席这次会议的有福岡、广州、曼谷、釜山、奥克兰、胡志明、新加坡、雅加达、马尼拉、吉隆坡、怡保、香港、上海等12个国家和地区的21个城市市长。广州市市长黎子流、市政府副秘书长赵正强、市建委副主任金更生应邀参加会议。在开幕式上, 黎子流代表与会的市长们致辞。他说, 东道主福岡市组织的这次会议有非常积极的意义, 亚洲特别是太平洋沿岸地区正成为全球经济发展最活跃的地区, 广州和亚洲太平洋地区各大城市一样正在向国际化大都市的目标迈进, 大家面临着相同的城市发展中出现的交通、居住、卫生、环境保护等问题, 我们将为解决这些问题积极地交换意见。

出席亚洲太平洋城市首脑会议 黎子流代表21城市市长致辞

本报总编辑赴会并将同时参加亚洲新闻研讨会

亚洲太平洋城市首脑会议是福岡市正在举行的“亚洲月”活动中的重要部分。在亚洲月活动中, 以苏章鸿为团长的广州歌舞团应邀参加其中文化节的演出, 连日来该团演出的精彩音乐舞蹈, 在各亚洲国家演出中受到特别的好评。预定于26日举行的“亚洲新闻研讨会”, 也将对亚太地区共同的城市问题, 及亚洲的新闻机构如何对此展开报道进行深入的交流。这次新闻研讨会也是“亚洲月”的组成部分, 来自亚洲各国主要报刊的代表将出席这次会议, 本报总编辑黎元江除参加亚太城市首脑会议外, 还将参加上述会议。



图为黎子流在会议上致辞的情景。
本报记者摄 (传真照片)

世界は今日、強い相互依存関係で結ばれ、アジア太平洋も地域としての一体感を強めている。ひと・情報・物の様々な流れが休むことなくこの地球を駆けめぐっている。そして、時代は国家を中心とした交流と同時に、その交流をさらにその下部の各地域・都市を中心として、日々生起する日常・具体的問題まで深化させ、積み上げていく方向に着実に発展しつつある。

これからの世界の平和と安定は、政治・経済や言語・文化の違いを超えた、都市と都市、地域と地域の多様な交流ネットワークの形成にかかっていると言える。桑原敬一福岡市長の呼びかけにより、1994年9月22日から24日までの3日間にわたって開催したアジア太平洋都市サミットでは、11カ国・地域の21都市の代表が一堂に会し、また国際連合の参加も得て、「都市の発展と人間居住環境との調和」に向けた都市間の相互連携について議論を深めることができた。そして、各都市のおかれた状況の違いを相互に理解するとともに、いくつかの共通認識に到達することができた。

もちろん、これは小さな一歩にすぎない。しかし、都市から世界平和戦略に参画していく貴重な一歩でもある。サミット閉幕にあたり、到達した相互理解と共通認識がアジア太平洋地域の未来を開いていくかぎとなるよう、「福岡宣言」としてまとめ、ここに宣言する。

1. アジア太平洋地域のめざましい経済成長に伴い、都市は急速な発展を遂げている。しかしながら、一方では交通、住宅、環境・衛生などの都市問題が生じている。豊かな風土と自然にはぐくまれたアジア太平洋地域が持続可能な発展をおこなっていくためには、経済成長と調和できるような都市の整備をすすめ、人間居住空間としての魅力を高めていくことが不可欠である。
2. 今日の都市問題は展開のスピードや広がりにおいて歴史上に例をみない。それだけに、一国、一都市だけでは解決が難しいものが多い。サミット参加都市が多様な知識と経験をもちより、都市の健全な発展と都市政策の前進に向け協力しあっていくことが重要である。
3. 都市間の緊密な協力・連携関係は、相互に理解と友好を深めあってこそ築いていくことができる。このサミットを契機に、“face to face” “heart to heart”を大切にしながら、市民を中心に産・学・官の多様多層な交流回路を作り上げていくことが必要である。
4. 以上の課題に共同して対処していくため、われわれは「アジア太平洋都市ネットワーク」の構築をめざす。そのため、このサミットを継続して開催することを合意し、そのための事務局を福岡市に設置することにした。アジア太平洋都市の間の平等な「学びあい」の関係は開かれた地域間協力のモデルとして、国際交流の新しいフロンティアを拓いていくことになろう。

最後に、このサミットを出発点に、「都市の発展と人間居住環境との調和」に向けた地道で息の永い取り組みが波紋のように広がることを切に願う。

1994年9月24日 福岡

アジア太平洋都市サミット報告書

1995年3月発行

編集・発行 アジア太平洋都市サミット実行委員会事務局
〒810 福岡市中央区天神1丁目8番1号
福岡市総務局国際部内
電話 (092)711-4028

印刷 株式会社 西日本高速印刷